

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 苗場福祉会	代表者	湖山 泰成	法人・ 事業所 の特徴	法人：本年度創立 27 年目を迎える。「より地域に密着して、より広域に」を目指し、新潟県を拠点に埼玉、千葉事業部と事業展開し施設数 21 を擁する大きな法人に成長している。 事業所：開設からまもなく 4 年。住み慣れた自宅での生活が継続できるように、お客様個々のニーズにあわせサービスを提供しています。単身及び高齢者世帯が増加する中、生活の中での心配事や困り事に寄り添い在宅生活を支えられるように努めています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 マロニエ	管理者	加藤 春美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	2 人	人	3 人	人	0 人	2 人	人	7 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・やり方や職員等について良く知らないの で、分からない。 ・このような取組みをしているなんて、大 変だと思った。家族の集まりが悪く、参加 者が少ないから、負担が大きい。対応を考 えた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族との関わりを増やし、会議の場にも 参加して頂けるように働きかける。 ・職員間で情報共有ができるよう、申し送り 記録だけでなく、短時間であってもミーテ ィングの時間を計画的に調整する。
B. 事業所の しつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・不適切ケア勉強会等の開催は行っていた 方が良い。家族も一緒に聞きたい。 ・席の配置などを考慮して欲しい。 ・施設っぽい感じがするが、そういうものだ と思っている。フロアの狭さを感じる。 ・お金が掛かっても良いので、もっと良いも のを食べさせて欲しい。 ・季節に合わせたしつらえはできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苗場カフェの活動や施設行事等を通じて、 地域住民の施設周知に繋げていく。 ・不適切ケアや接遇等の勉強会を継続し、こ やまケアアンケートでご意見を伺いなが ら、お客様が快適に過ごせる場所を作る。
C. 事業所と地域の かかわり			<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶はとても良いと思う。 ・相談ごとや困りごとは相談しやすい。 ・地域では介護施設としてあまり認識され ていないが、体操教室や祭りの会場として 地域との関わりは増えてきている。 ・子供の多い地区なので、行事に参加し関 係性作りに努めたら良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で開催される会議やイベント・行事に 積極的に参加し、地域との関係性の構築、 情報収集に努める。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・地域での活動の様子が見られず、周知さ れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内のお客様だけでなく、在宅や地域 の中でそのお客様がどのように過ごされて いるのか「生活」に目を向け、日常生活を 支える支援ができるよう、24 時間シートを 活用し探っていく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・内容がよくわからない。 ・多数参加して行う事だと思うので、参加し てもらえるように対応を考えた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族が参加しやすい日程を確認し、会議 内容を見直しすることで、参加者の増加を 図る。
F. 事業所の 防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> ・地区の避難訓練には参加できている。 ・施設内での防災計画・実施状況は、説明を 受けて理解できた。 ・災害時、避難場所（建物）がないので、頼 りにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災委員会を中心とし、避難訓練や勉強会 の年間計画を立て、実施する。 ・計画に沿った訓練実施状況について、運営 推進会議等を通して、地域の方々へ周知す る。